── 壁かけ式ディスポ吸引器 ──

Yox TYPE S-711 DiSPO

ヨックス ディスポ S711

届出番号 10B2X00014C00011

取扱説明書



⚠ 警告 取扱説明書をよく読み、内容を理解してから、当製品を扱ってください。

発売元
人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL
株式会社 小池メディカル

製造販売元
株式会社 群馬コイケ

はじめに

このたびは、「ヨックスディスポ　S711」をお買い求め戴き、厚く御礼申し上げます。
本書に従わない取扱い・操作・整備等を行った場合は、性能が十分に発揮できない上、重大な事故につながることがありますので、当製品を扱う全員の方が見られるよう、いつも当製品のそばに置いてください。

当製品は、アウトレットの吸引圧力を利用する医療用壁かけ式吸引器です。
外科手術や治療などによって生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物をライナーに吸収し、固形化させるものです。
本取扱説明書は、当製品を安全に正しくご使用いただくためのガイドブックです。
当製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、取り付けおよび操作方法の他、点検・整備方法などを十分にご理解された上で、ご使用くださりますようお願い致します。

- 本書に従わない取扱い・操作・整備等を行った場合は重大な事故につながることがあります。
- 本書の説明が完全に理解されるまでは、当製品をご使用しないでください。
- 常に本書を手元に保管し、当製品を扱う全員の方が必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに当社または、お近くの販売サービス店までご連絡ください。

もくじ

- 安全の表示／安全メッセージ …… 2
- 安全に使用していただくために …… 3
- 製品の概要／各部の名称と働き …… 4
- 構成品 …… 6
- 仕様／オプション …… 7
- 操作：＜使用前の準備＞
  - キャニスターにライナーをセット …… 8
  - キャニスターにヘッドをセット …… 9
  - ペイシェント ホースハンガーの取付け …… 10
  - キャニスターヘッドにコントローラーをセット …… 11
  - 本体をアウトレットに接続 …… 11
  - ペイシェントホースをライナーに接続 …… 12
- 操作：＜吸引の開始＞
  - 吸引の確認 …… 13
  - 吸引の開始 …… 14
- 操作：＜吸引の中断＞ …… 15
- 操作：＜吸引の停止＞ …… 16
- ライナーの廃棄処理／廃棄処分
  - 廃棄の手順 …… 17～19
  - 消耗部品の廃棄処分 …… 20
- 洗浄および消毒
  - 耐薬品性 …… 21
  - 洗浄＆消毒 …… 22～23
- 保守：点検 …… 24～26
- 故障かなと思ったら …… 27
- 消耗部品・部品の注文方法と保証期間 …… 28
  - 部品リスト／保証期間 …… 29
- 日常点検表 …… 30
- 定期点検表 …… 31

● 安全の表示／安全メッセージ

安全の表示

本書および当製品の安全性をよりご理解いただくために、安全の表示を次のように使い分けてあります。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態になる場合の注意事項に用いております。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある危険状態になる場合、および物的損害のみの発生が想定される場合の注意事項に用いております。

安全メッセージ

当製品に表示されている安全メッセージの内容と、表示位置は下図の通りです。ご確認ください。

安全メッセージの内容を良くご理解の上、安全にご使用願います。



おねがい

● 安全に使用していただくために

⚠ 警告

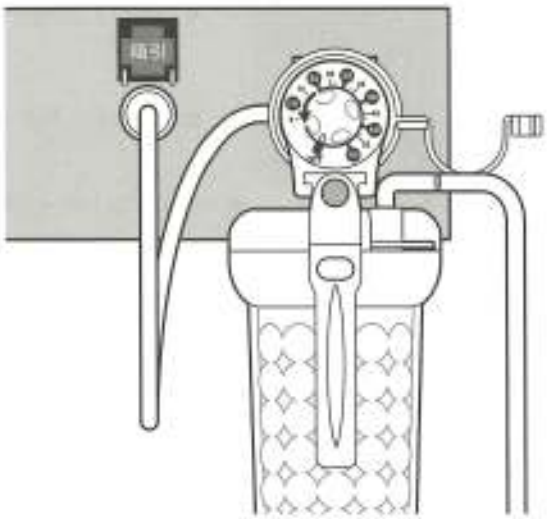
当製品を使用する時は、事故予防措置として次の点にご注意ください。

❶ ライナーは、キャニスターに正しくセットしてください。



ライナーがないと吸引できません。
また、正しくセットされない場合も吸引できません。

❷ 当製品は吸引配管の「アウトレット」に接続し、外科手術や治療などによって生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物の吸引に使用するものです。それ以外の用途には、使用しないでください。



❸ 上部のカラーボタンを不用意に押さないでください。



運搬中またはセットする前には、不用意に上部のカラーボタンを押すと、コントローラーが外れて落下することがあります。

❹ 下部のホワイトボタンを不用意に押さないでください。



運搬中またはセットする前には、不用意に下部のホワイトボタンを押すと、コントローラーおよびキャニスターヘッドが外れて落下することがあります。

❺ 当製品はアウトレットパネルのフックに、コントローラーのハンガーを掛けて使用します。



他のものにセットする場合は、当社または当社サービス店にお問い合わせください。

❻ キャニスターの外装部は、洗浄剤または薬剤の種類によりプラスチックが侵され、亀裂や破損の原因になることがあります。



21ページの「耐薬品性」の表を参考にしてください。

❼ 汚物は外にこぼれないように処理してください。



ライナーの汚物を処理する場合は、吸引口および排出口を黄色のキャップでしっかり密閉して、汚物が外部にこぼれないようにしてから処理してください。

● 製品の概要／各部の名称と働き

製品の概要

① 当製品は、医療ガス配管設備の吸引アウトレットに接続して用いる壁掛け式吸引器です。

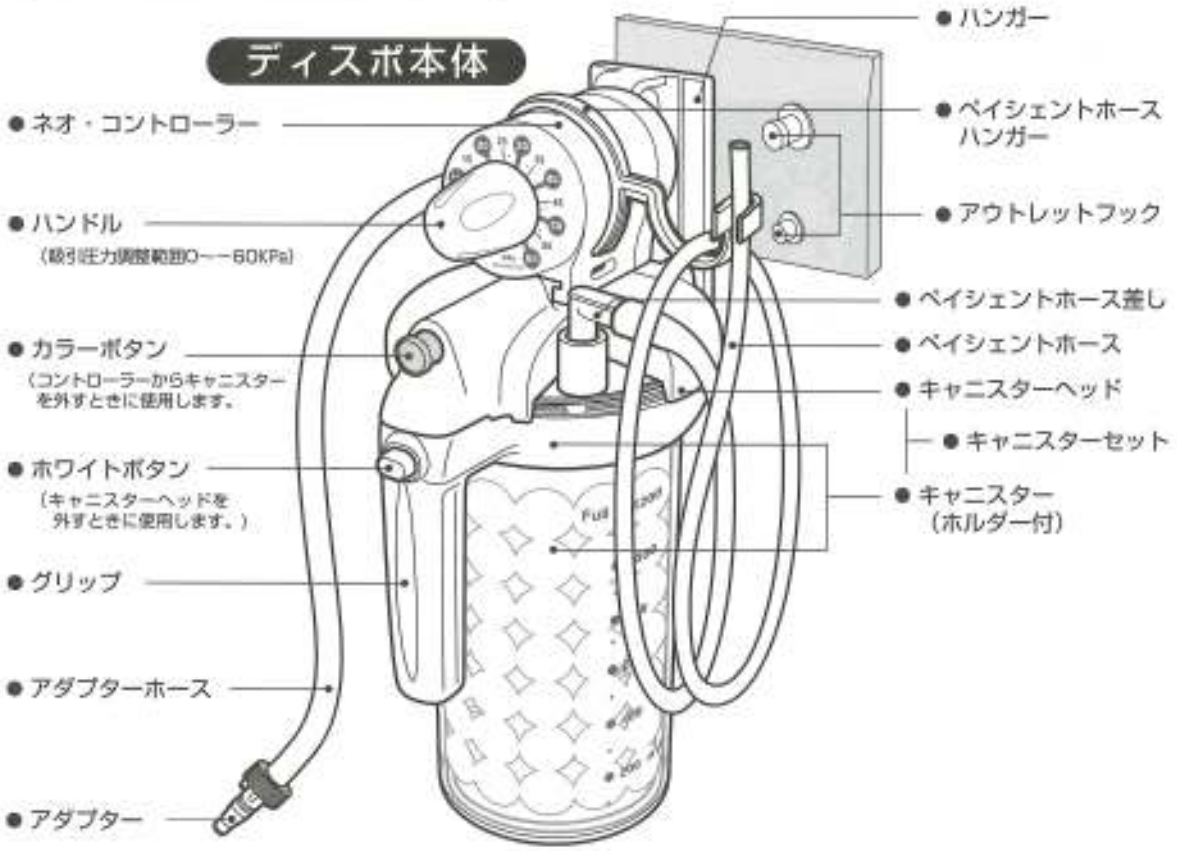
② ネオ・コントローラー部とキャニスター部で構成され、外科手術や治療などによって生じる血液・たん・生理食塩水などの汚物を、ネオ・コントローラー部で調整する吸引圧力により吸い取り、ライナー内に貯留するものです。

③ ネオ・コントローラーには、先端にアダプターがついているアダプターホースが接続されています。

④ アダプターを吸引アウトレットに差し込むことにより、簡単に医療ガス配管設備と接続できます。

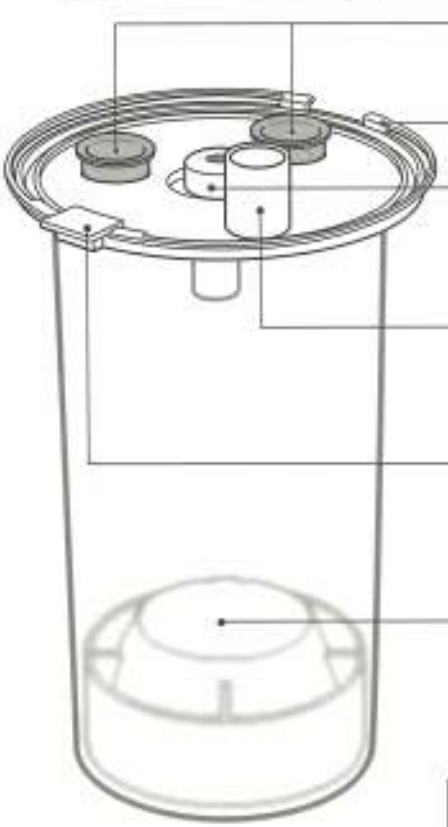
各部の名称と働き

ディスポ本体

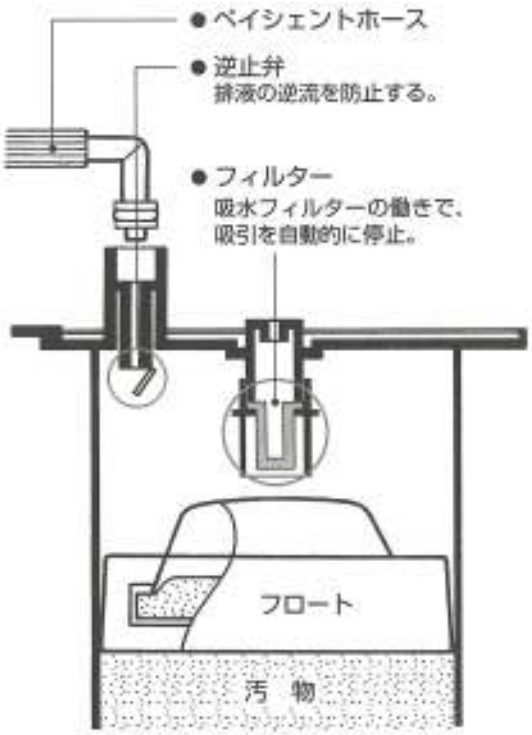


● 各部の名称と働き

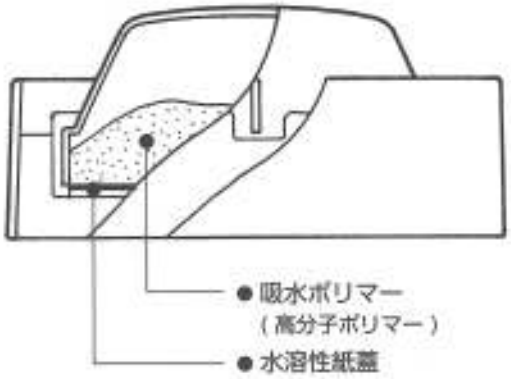
ライナー



- イエローキャップ
- 吊り手
- 吸引口
  吸引用エアーの出口
- ペイシェントホース
  接続口
- キャニスター
  との合わせ凸部
- フロート
  凝固剤入り



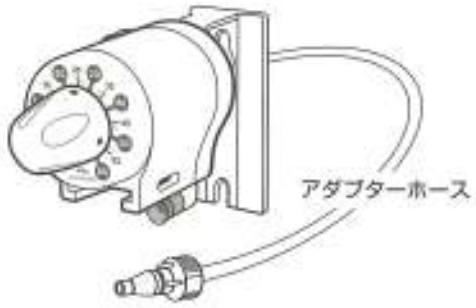
凝固剤入りフロート



● 構成品

当製品の構成品は下図の通りです。ご使用前に、すべての構成品があることを確認してください。
欠品がある場合は、当社または販売店／取扱店へご連絡ください。

■ネオ・コントローラー
（アダプターホース付き）



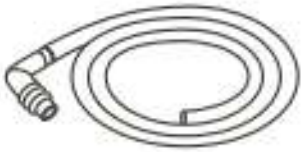
■ペイシエントホースハンガー



■キャニスターヘッド



■ペイシエントホース



■キャニスター（ホルダー付）



■ライナー（別売）



■取扱説明書



■添付文書

● 仕様／オプション

◆ 仕　　様



ヨックスディスポ S711 本体

項　目	内　容	
一般的名称	真空吸引器	
販売名	ヨックスディスポ　S711	
届出番号	10B2X00014C00011	
入口吸引圧力	−60〜−80KPa	
吸引圧力調整範囲	0〜−60KPa	
吸引圧力調整目盛	OFF, -5, -10, -15, -20, -25, -30, -35, -40, -45, -50, -55, -60	
セット内容	●ネオ・コントローラー ●ペイシェントホース(ホース差付) ●ペイシェントホースハンガー ●キャニスターヘッド ●キャニスター〈ホルダー付〉	
アダプター形式	ピン インデックス(標準使用)	
セット品の重量	1,130g (1,200ml)	1,030g (500ml)

●一般医療機器　●特定保守管理医療機器

1.カラーの選択

次の3種類から選択できます。

A：ピーチ　B：レモン　C：ミント

2.アダプターの選択

アダプターには、次の2種類がありますので、アウトレットバルブの形式に合わせたアダプターを選定してください。

A：ピンインデックス形　B：シュレーダ形

※アウトレットバルブがシュレーダ形式の場合は、必ずシュレーダ形とご指定ください。

●ライナー



項　目	内　容	
一般的名称	吸引器用キャニスタ	
販売名	ヨックスディスポ用ライナー	
届出番号	10B2X00014A00003	
ボトル容積	1,200ml	500ml
外形寸法	φ95×210㎜	φ95×135㎜
構成	フロート(凝固剤入り)	

●一般医療機器　●単回使用（再使用禁止）

● 操作：使用前の準備

⚠警告

当製品の操作は、必ず次の手順に従って行ってください。
手順に従わない場合は、重大な事故が起こることがあります。

1.キャニスターにライナーをセット

⚠注意

ご使用の際には、必ずキャニスターにライナーをセットしてください。

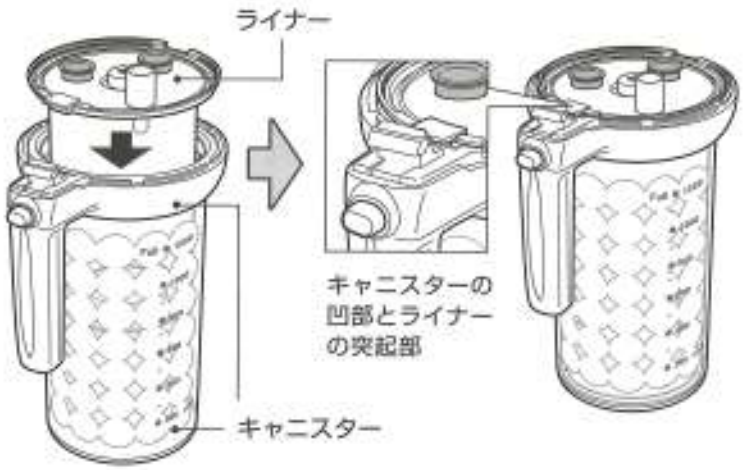
1. ライナーを用意します。ライナーは右の図のように、セットできるように伸ばしてください。



☺

セットの際、ライナーにセットされている黄色のキャップが、穴から外れていないことを確認してください。(ヘッドが正しくセットできません)

2. キャニスターにライナーを差しこみます。この時ライナーの突起部とキャニスターホルダーの凹部をしっかりと合わせてください。



⚠注意

容量500mlのライナーを1,200ml用キャスターに使用しないでください。

吸引漏れやライナーが破損する恐れがあります。

● 操作：使用前の準備

2.キャニスターにキャニスターヘッドをセット

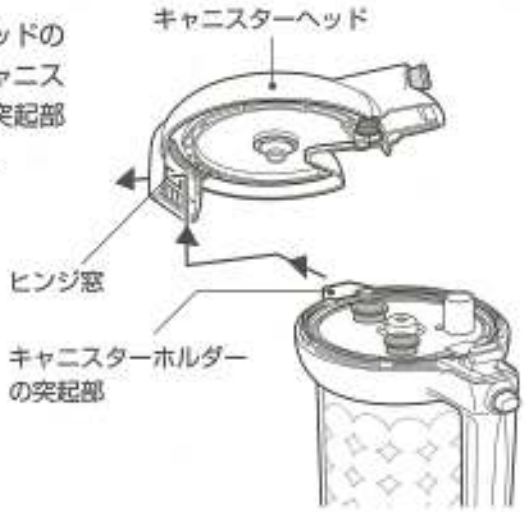
⚠注意

キャニスターヘッドとキャニスターの着脱は、落下による破損事故防止のために必ず机上で行ってください。

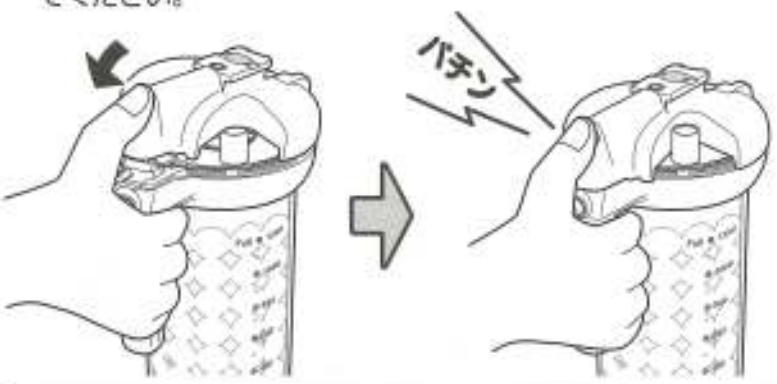
☺

セットの際、キャニスターヘッドのジョイント、シールが、正しく組み付けられていることを確認してください。

1. キャニスターヘッドのヒンジ窓に、キャニスターホルダーの突起部を差し込みます。



2. そのままキャニスターヘッドを押し下げ、「パチン」と音がしたらセット完了です。音がしない場合は、もう一度やり直してください。



⚠注意

キャニスターが、キャニスターヘッドに確実にセットされていることをご確認ください。確実にセットされていないと、キャニスター落下によるキャニスターの破損、または人身事故につながることがあります。

● 操作：使用前の準備

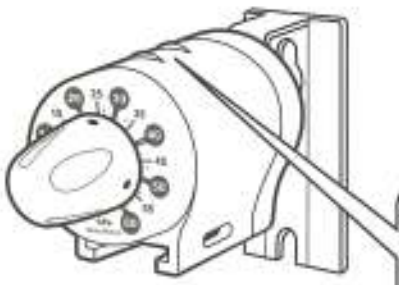
3. ペイシェントホースハンガーの取付け

図のようにペイシェントホースハンガーを
ネオ・コントローラーのヘッド部分に取付けます。

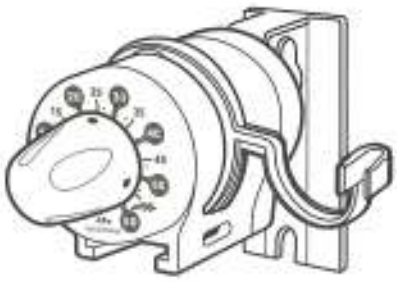
<ペイシェントホースハンガー>



<ネオ・コントローラー>



ネオ・コントローラーヘッドの凸部の間にはさみ込むようにホースハンガーを取付けます。

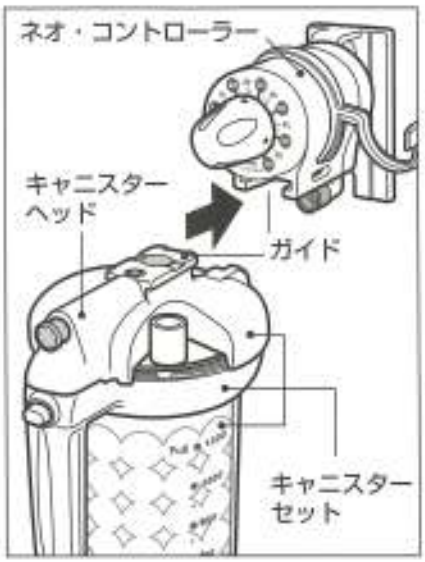


4.キャニスターヘッドにネオ・コントローラーをセット

☺

納入品は、あらかじめネオ・コントローラーにディスポキャニスター本体がセットされています。

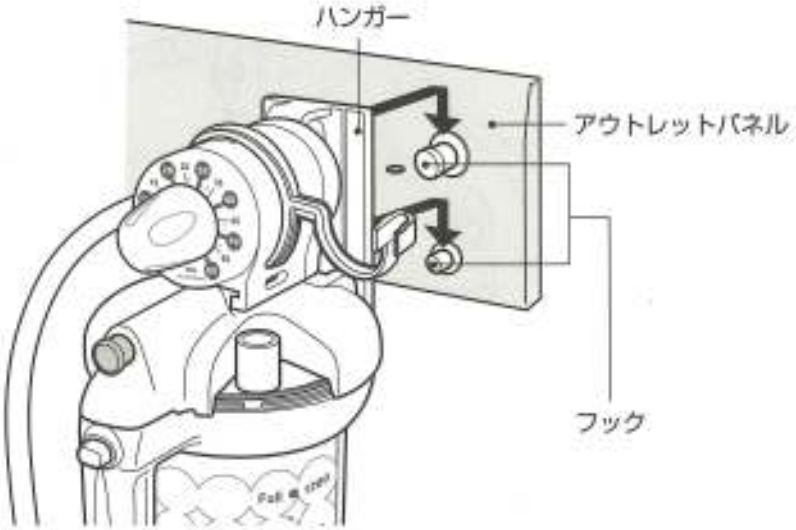
図のようにネオ・コントローラーのガイドとキャニスターセットのガイドを合わせ、スライドさせます。カラーボタンが「カチッ」と音がするまで押しつけてください。





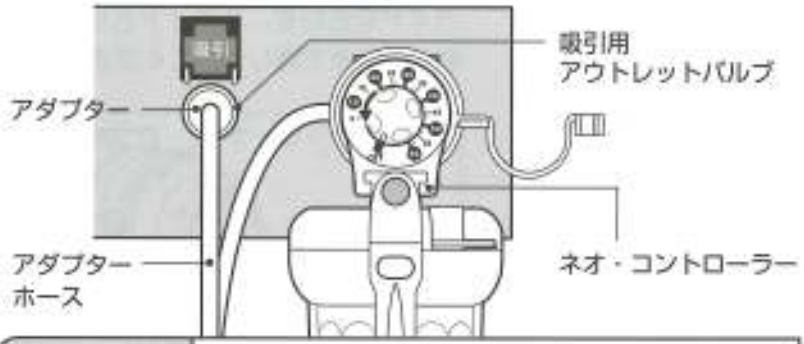
5.本体をアウトレットに接続

1. アウトレットパネルのフックにネオ・コントローラーのハンガーを引っかけて取り付けます。



● 操作：使用前の準備

2. 吸引用アウトレットバルブに、ネオ・コントローラーのアダプターホースのアダプターを差し込みます。



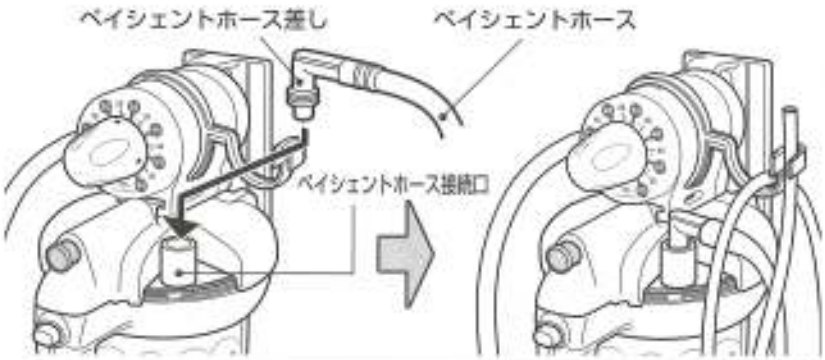
☺
アウトレットの吸引口は、ブラック（黒色）カラーと決められています。

⚠注意

- アダプターホース先端のアダプターの形式が、アウトレットバルブの形式に合っているか確認してください。
- アウトレットにアダプターを差し込む前に、ネオ・コントローラーのハンドルの赤ラインが目盛の「OFF」の位置にあることを確認してください。
- アウトレットにアダプターを取り付ける際には、アダプターのピン位置を合わせ「カチッ」というまで差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力が作用せず、吸引不可となります。

6.ペイシェントホースをライナーに接続

ペイシェントホースのホース差しを、ライナーに差し込みます。



⚠注意

ペイシェントホースのホース差しは、ライナーに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力の低下、ペイシェントホース差しの抜けなど、吸引作業の支障となります。

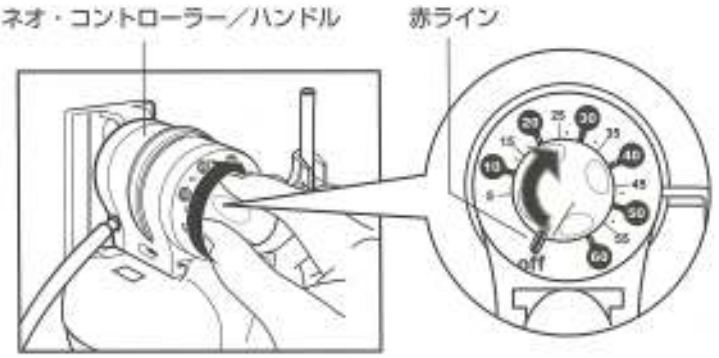
● 操作：吸引の開始

吸引の確認

☺

目盛は吸引圧力を表しています。

1. ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」の位置を「OFF」の位置から時計方向に廻すと、吸引が開始されます。

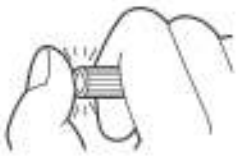


2. ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」の位置を、目盛「10」に合わせたら、次の2つの方法のどちらかで、吸引できるか確認してください。

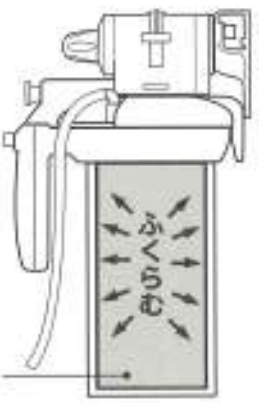
A. ペイシェントホースの先端を、あらかじめ用意した水の入った容器内に差し込みます。水を吸い上げれば準備OKです。



B. ペイシェントホースの先端を、親指の腹に当てます。吸引を確認できればOKです。



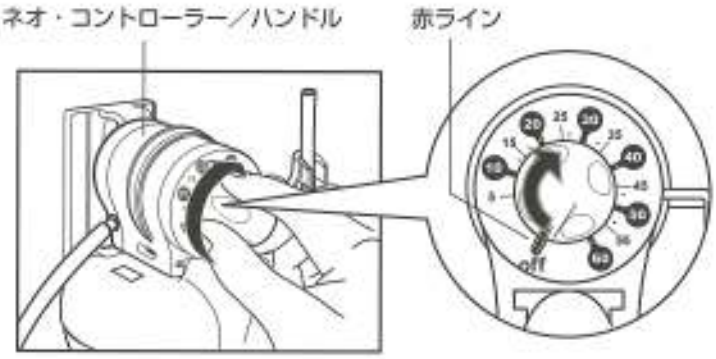
3. キャニスター内のライナーに吸引圧が作用し、キャニスター内一杯にふくらめば、吸引はOKです。
ライナーがしぼんでしまう場合は、セット不良または、部品が抜けている場合ですので、前述の動作および操作をやり直してください。
（部品とはシールA、ジョイント、パッキンを示す。）



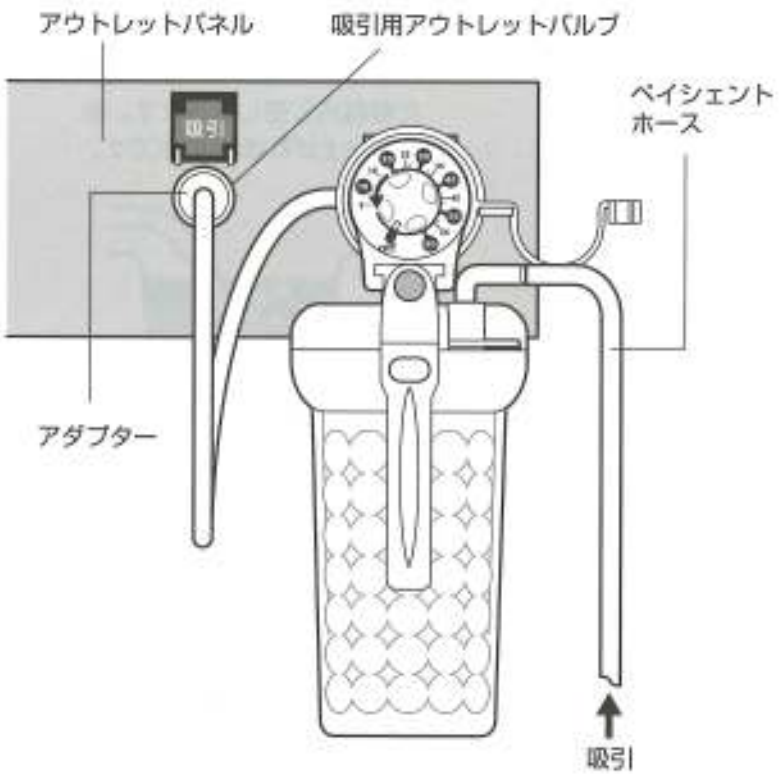
● 操作：吸引の開始

吸引の開始

1. ネオ・コントローラーのハンドルを廻し、「赤ライン」を必要とする目盛（吸引圧力）に設定してください。



2. これで、ペイシェントホースの先端から吸引できます。



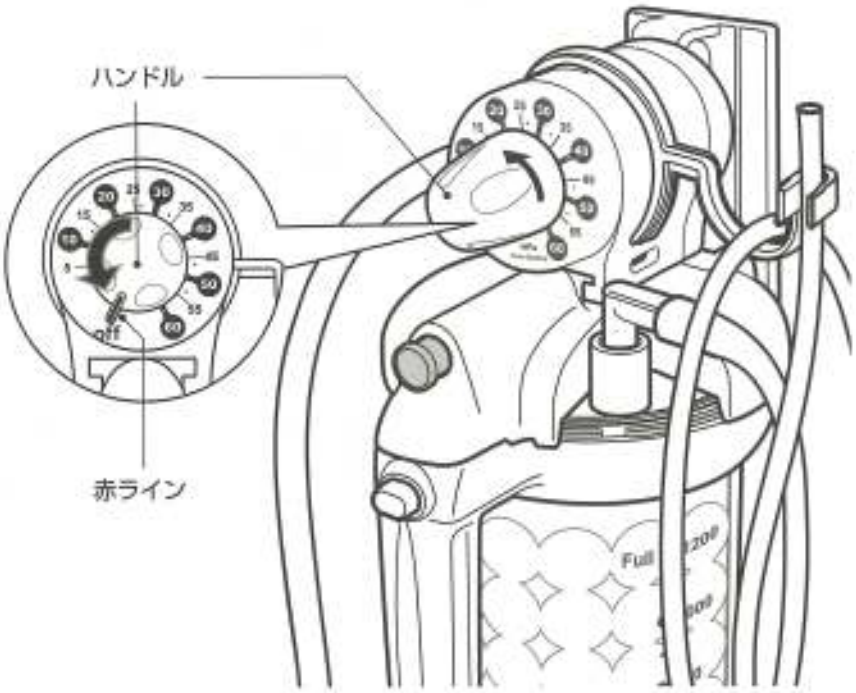
☺

吸引した汚物等は先の曲がったノズルにより、ボトルの内側に沿って旋回しながら流入しますので、飛沫の発生防止となっています。

● 操作：吸引の中断

⚠注意	ライナー内の汚物が「Full」になると停止装置が働きますが、できる限り早めに交換してください。

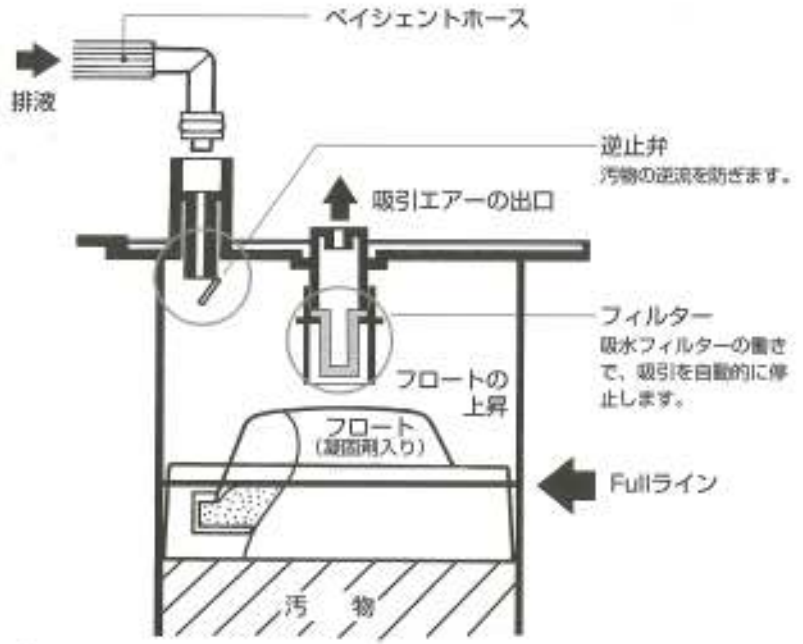
ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」を「OFF」の位置に戻してください。



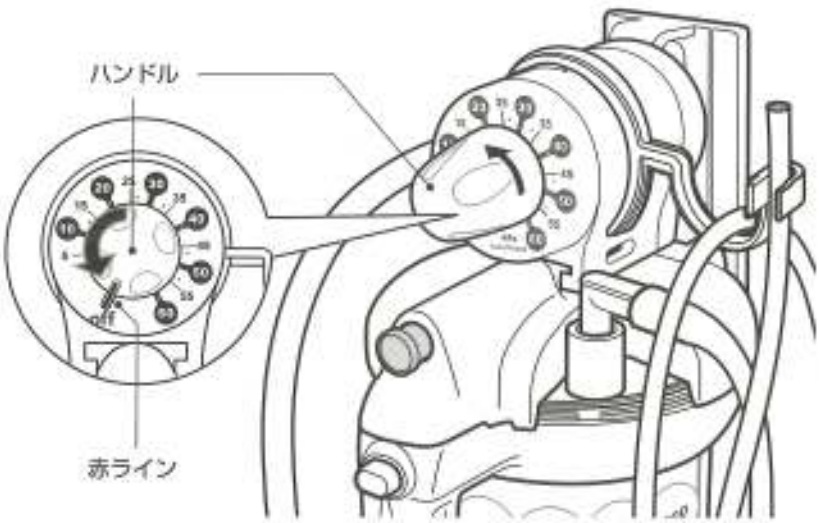
● 操作：吸引の停止

吸引の自動停止

1. この吸引器は、ライナー内の汚物が満杯「Full」近くになると、自動的に吸引圧力が遮断され、吸引が停止します。



2. ただちにネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」を「OFF」の位置に戻し、ライナーを廃棄してください。
廃棄は、17ページの「ライナーの廃棄処理」に従い、廃棄してください。



● ライナーの廃棄処理

廃棄操作の注意事項

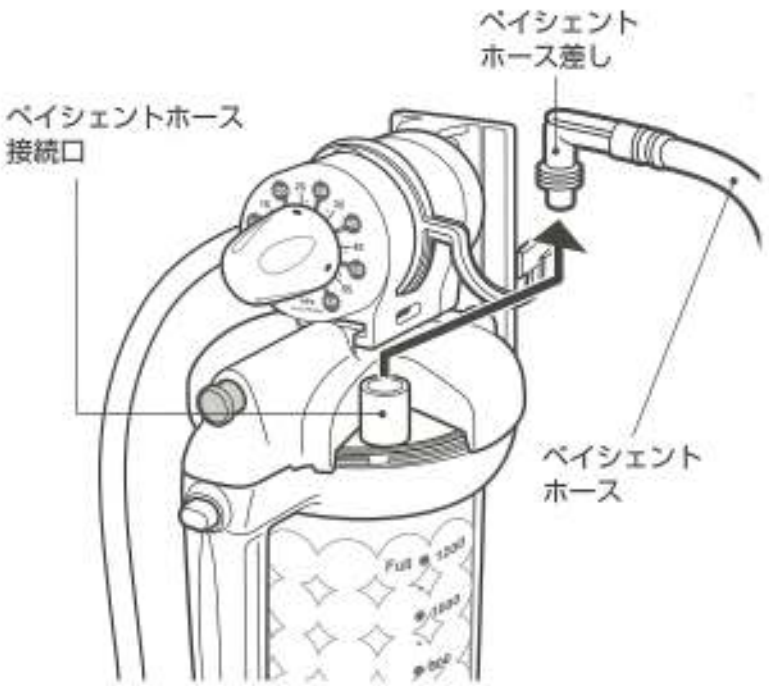
⚠注意	汚物を廃棄する時は、次の点に注意して操作を行ってください。汚物の飛散、キャニスターの落下、キャニスターの破損などにより、汚物による汚染などにつながります。

❶ ライナーを棄てるときは、吸引を中止してから行ってください。

❷ 使用後は、汚物が付着したままで放置しないでください。汚物が固化しますと洗浄しにくくなるばかりか、故障の原因になります。直ちに汚物を廃棄し、洗浄および消毒を行ってください。

廃棄の手順

1. ライナーからペイシェントホースを外してください。



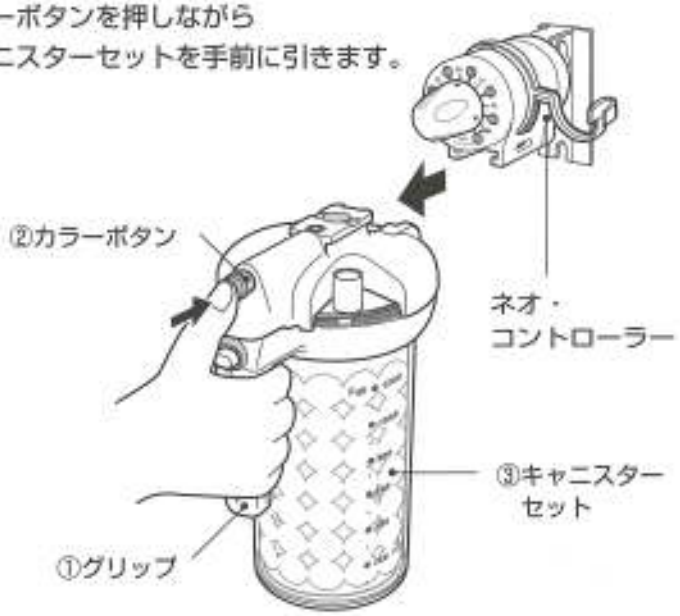
● ライナーの廃棄処理

☺

ペイシェントホース差しの先端より汚物が飛散しないように外して、ポリ袋等に収納し処理してください。

2. ネオ・コントローラーから、キャニスターセットを外してください。

①グリップをしっかり握り
②カラーボタンを押しながら
③キャニスターセットを手前に引きます。



☺

キャニスターヘッドは、逆さまにして、机上等平らな場所に置くようにしてください。



3. キャニスターセットから、キャニスターヘッドを外してください。

キャニスターセットを机上等の平らな場所に置き、

①片方の手でボトルヘッドを押さえ、
もう片方の手でグリップを握ったまま、
②ホワイトボタンを押し、
③ボトルヘッドを外します。



4. ライナーの「吸引口」と「ペイシェントホース接続口」を、付属の黄色のキャップでしっかりと密閉してください。



5. ライナーの吊り手を持って、キャニスターから引き出してください。



☺

多少の斜めや傾けても、凝固剤の作用で液体は固まっていますので、こぼれる心配はありません。



● ライナーの廃棄処理／消耗部品の廃棄処分

6. ライナーのまま、所定の処理場所へ廃棄してください。



消耗部品の廃棄処分

⚠警告	使用済みの吸引器、または吸引器に使われた部品を廃棄する場合は、適合する法規に従って処理してください。

● 洗浄および消毒

洗浄および消毒方法の注意事項

⚠注意	洗浄および消毒方法、または薬剤の種類により、プラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因となることがあります。

❶ 薬剤の取扱いについては、薬剤に付属されている「取扱説明書」をよくお読みください。

❷ 当製品の使用後は必ず洗浄および消毒を実施してください。

❸ 当製品を洗浄または消毒する際の薬剤は、下表の「耐薬品性」を参考に選定してください。
×印の消毒剤は使用しないでください。
○印の薬剤でも使用方法によりプラスチック製品部が侵され、亀裂が発生することがあります。

耐薬品性

一　般　名	商　品　名	可否
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート★	○
	ヒビテン★	○
	ヒビスクラブ★	○
	マスキン液★	○
塩化ベンザルコニウム	オスバン、ヂアミトール	○
グルタラール	ステリハイド、サイデックス	○
クレゾール		×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ51	×
	アノン300	×
アルコール	エタノール、メタノール	×
ヨウ素およびヨウ素化合物	イソジン	○
塩化ベンゼトニウム	ハイアミン	○
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター	×
	ピューラックス、ミルトン、テキサント	×
植物系油	サラダ油、オリーブ油	×
鉱物系油		×

（注）★：ただし、アルコールによる希釈は不可　○：使用可　×：使用不可

❹ 上表の他に、濃度もさまざまな薬剤の登場が予想されます。
新しい薬剤を使用する場合には、最寄りの弊社営業所または販売店、もしくは消毒メーカーにお問い合わせください。

● 洗浄および消毒

❺ 当製品のプラスチック製品部の耐熱温度は100℃以下です。
100℃を超える温度での洗浄および消毒は行わないでください。

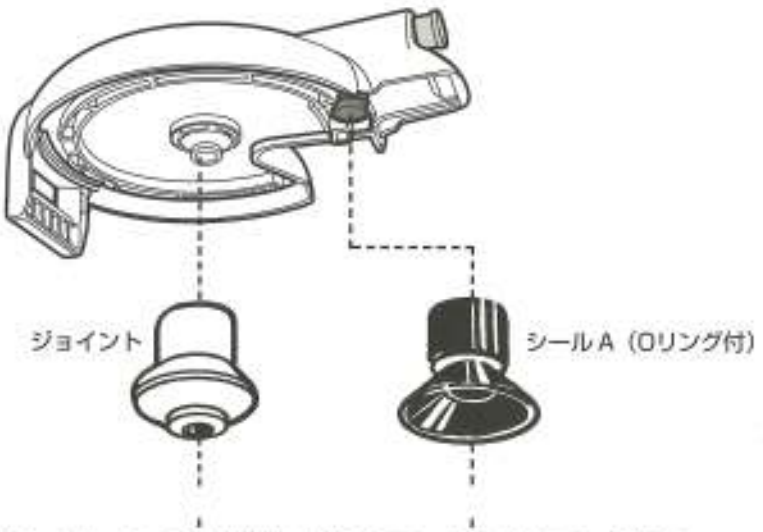
❻ 急激な温度変化は亀裂および破損の原因となります。

❼ プラスチック製品部の洗浄には、柔らかいスポンジを使用してください。
たわしやブラシのような硬いものでの洗浄は、表面に傷がつきますので使用しないでください。

ネオ・コントローラーの洗浄および消毒

ネオ・コントローラーは精密な構造のため、洗浄消毒をしないでください。汚れた場合は、柔らかい布で拭き取る程度にしてください。

キャニスターヘッドの洗浄および消毒



❶ シールA、ジョイントは簡単に外せるので、取り外してから洗浄または消毒を行ってください。

❷ パッキンの良否を確認し、不良品は新品に取り換えてください。

❸ 洗浄および消毒後、部品は良く乾燥させてください。

キャニスター（ホルダー付）の洗浄と消毒

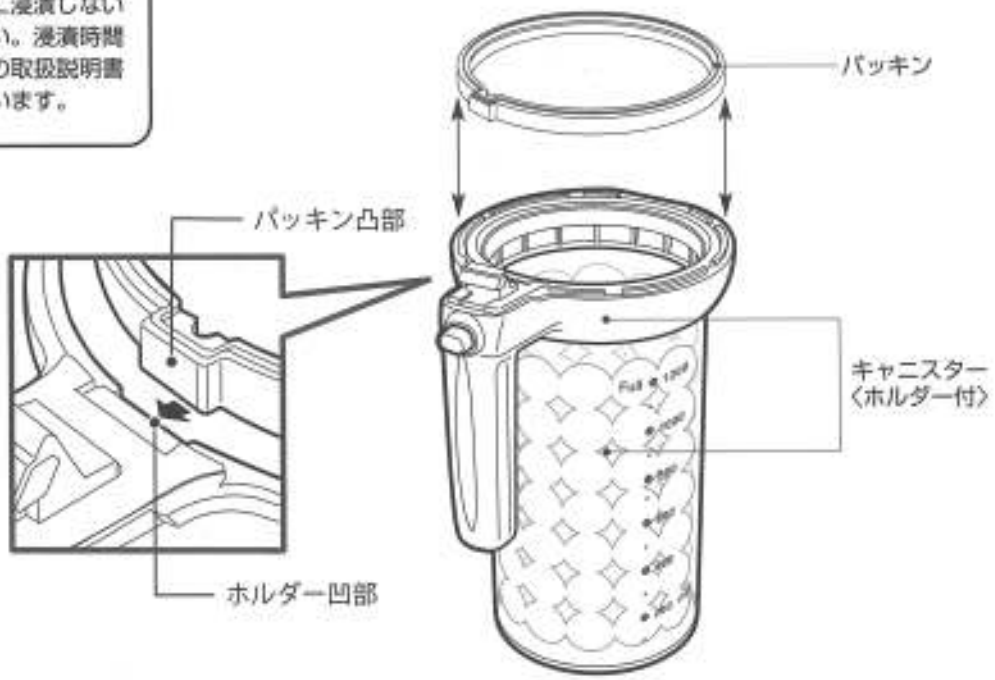
⚠注意

キャニスターホルダーは一体化された構造になっておりますので、外さないでください。無理に外しますと損傷のおそれがあります。

☺

キャニスターを長時間消毒薬液に浸漬しないでください。浸漬時間は、薬剤の取扱説明書を参照願います。

❶ パッキンを外してください。その時にパッキンの良否を確認してください。



❷ 洗浄および消毒を行ってください。

❸ 洗浄および消毒後、各部品は良く乾燥させてください。

❹ パッキンは正しい位置にセットしてください。
半円の切り口がついている方を上にし、パッキンの突起部（凸）とキャニスターホルダーの凹部をしっかり合わせてください。

● 保守・点検

日常の点検

⚠警告	安全および性能を維持するために、保守点検は必ず行ってください。怠りますと、重大な事故につながることがあります。

❶ ご使用前に、必ず点検を行ってください。

❷ 点検項目と点検方法、および不具合時の対処は、下記の表を参照してください。

❸ 点検記録は1年以上保存してください。（下記のチェック事項記載点検表の用紙は当社で用意してあります。）

点検項目と点検方法、および不具合時の対処

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
1.吸引性能	キャニスターにセットしたライナー（ふくらみの状態を見る）	P.13の『吸引の確認』により確かめる	吸引できない時は、P.27の『故障および誤作動の対処方法』の表により対処する
2.気　密	ネオ・コントローラー、キャニスターの組付部および各ホース接続部に漏れがないか	まず吸引を開始してみる。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する、漏れがあれば吸引される	漏れがあった場合はP.27の『故障および誤作動の対処方法』の表により対処する
3.構成品の外観	①キャニスターに亀裂または損傷がないか、変色がないか	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する	⚠注　意 新品に交換する
	②キャニスターホルダー、ホワイトボタンに亀裂または損傷がないか		
	③キャニスターヘッドに亀裂または損傷がないか		
	④ネオ・コントローラーに亀裂または損傷がないか		新品に交換、または原因を取り除く
	⑤ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂がないか	損傷がないか確認する	新品に交換する
4.構成品の接続	確実にセットされていることを確認する	各部品を着脱操作し、セットの状況をみる	再セットする

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
5.操作性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転がスムーズか確認する	ハンドルを回転させ、作動状況を見る	⚠注　意 異常が認められた場合は使用を中止し、当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱がスムーズか	カラーボタンが正常に作動し、ネオ・コントローラーの着脱がスムーズに行えるかをみる	
	③ホワイトボタンの作動とキャニスターホルダーの着脱がスムーズか	ホワイトボタンを押し、キャニスターホルダーの着脱がスムーズに行えるかをみる	
6.シール材の変形 （キャニスターパッキン／シールA／ベイジェントホース／ジョイント）	①パッキンは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する	取り付け直しまたは新品に交換する
	②キャニスターヘッドのシールA、ジョイントは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
	③シールAは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
7.清潔性	①キャニスターとキャニスターヘッドは清潔になっているか、また洗浄および滅菌消毒は行われているか	油脂類の付着、水あか、金属のさび、汚れ等が無いことを目視で確認する	P.23の「キャニスター（ホルダー付）の洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒を行う
	②ネオ・コントローラーの外観は清潔になっているか		P.22の「ネオ・コントローラーの洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒を行う

● 保守・点検

定期点検

❶ 製造後長時間ご使用になりますと、ゴム製品、樹脂製品等に劣化が起こります。少なくとも1年に1回以上、次の定期点検を行ってください。

❷ 定期点検は、お買い求めの販売店または当社にご依頼されることをおすすめします。

❸ 定期点検は、日常点検と同様の項目で行ってください。

⚠ 警告

不完全な修理、調整は危険です。部品の交換、調整が必要な場合には、器種名をご確認のうえお買い求めの販売店、または当社にご依頼ください。

定期点検を販売店または当社に依頼される場合は、当製品を必ず滅菌および消毒後に発送してください。病原菌による感染、または汚染等非常に危険です。

● 故障かなと思ったら

故障および誤作動の対処方法

現　象	原　因	点検箇所	処　置
吸引ができない	アダプターが正常に接続されていない	アダプターおよびアウトレット	①アダプターがアウトレットに合致しているか調べてください。 ②アウトレットにアダプターを差し込み直してください。
	シールAの不具合	ネオ・コントローラー	シールAを取り付け直すか、パッキンを交換してください。
	シールAまたはジョイントの不具合	キャニスターヘッド	取り付け直すか、新品と交換してください。
	キャニスターの取付不良	キャニスター	キャニスターを取り付け直すか、交換してください。
	パッキンの不具合	キャニスター	新品と交換してください。
	ネオ・コントローラーの圧力設定不良	ネオ・コントローラー	新品と交換してください。 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	ホースの折れ	ベイシェントホースおよび一次側ホース	折れの原因をなくすか、ホースを交換してください。
	導通管の損傷	ネオ・コントローラー	導通管を交換してください。
	ライナーの不良	ライナー	ライナーセットを確認する。破損品または吸引不可のものは、新品と交換してください。
吸引が弱い	シールAの不具合	ネオ・コントローラー	取り付け直すか、新品と交換してください。
	シールAまたはジョイントの不具合	キャニスターヘッド	取り付け直すか、新品と交換してください。
	キャニスターヘッドとキャニスターホルダーの取付不具合	キャニスターヘッドおよびホルダー	ライナーの状態を確かめて、キャニスターヘッドを取り付け直してください。
	ネオ・コントローラーとキャニスターヘッドの接続不具合	ネオ・コントローラーとキャニスターヘッドおよびシールA	ネオ・コントローラーのレール部にキャニスターヘッドが固定されるまで押し込んでください。
	導通管の損傷	ネオ・コントローラー	導通管を交換してください。
吸引圧力の調整ができない	ネオ・コントローラーの不具合	ネオ・コントローラー	新品と交換してください。 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

● 消耗部品・部品の注文方法／保証期間

消耗部品・部品の注文方法

⚠警告

部品交換は当社純正部品とご指定ください。部品のご注文は28~29ページを参照ください。（不完全な修理、部品の交換は危険です。）

部品のご注文に際しては、本リストの部品(名称)、部品(番号)および(数量)をお知らせください。

部品図



部品リスト

番号	部品名称		コード番号	数量	備考
1	ネオ・コントローラー（組）		338201	1	2～6を含む
2	六角穴付ボルト		322032	1	
3	ハンガー		322004	1	
4	ホース差し		338003	1	Oリング付
5	連通管		338004	1	Oリング付
6	シールA		322003	1	
7	ベイシェントホース差し付ホース（2m）		359021	1	8,9のセット品
8	ベイシェントホース（2m）		322021	1	
9	ベイシェントホース差し（10個入）		359122	1	ディスポ
10	ベイシェントホースハンガー		359029	1	
11	アダプターホース（50cm）		322008	1	
12	アダプター		340004	1	MS（ピンインデックス）
			340013	1	アムコ（シュレーダ）
13	キャニスターヘッド		359101	1	ビーチ（14、15を含む）
			359102	1	ミント（14、15を含む）
			359103	1	レモン（14、15を含む）
14	ジョイント		359007	1	
15	シールA（Oリング付）		359008	1	
16	キャニスター（ホルダー付）	1,200ml	359104	ホルダー色・キャニスター柄色／ビーチ17含む	
		500ml	359114		
		1,200ml	359132	ホルダー色・キャニスター柄色／ミント17含む	
		500ml	359135		
		1,200ml	359133	ホルダー色・キャニスター柄色／レモン17含む	
		500ml	359136		
17	パッキン		359023	1	
18	ライナー（30個入）	500ml	359332	1	
		1,200ml	359331	1	

☺ (選択)

❶ キャニスター（ヘッド／ホルダー）　❷ アダプターの形式をご指定ください。

カラー選択〈3配色〉　● ビーチ　● ミント　● レモン

以上3系色あります。ご注文の際に、各配色名をご指定ください。

保証期間

当製品（消耗品は除く）の保証期間は、お求めの日から1年間です。

● 日常点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検日時・点検者								
1.吸引性能	ネオ・コントローラー、吸引キャニスターの組付品の吸引確認									
2.気密	ネオ・コントローラーとキャニスターの組付部、および各ホース接続部の漏れ									
3.構成品の外観	①キャニスターヘッドの亀裂、損傷、変色の確認									
	②キャニスターホルダーの亀裂、損傷、変色の確認									
	③ホワイトボタンの亀裂、損傷の確認									
	④ネオ・コントローラーの亀裂、損傷の確認									
	⑤ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂の確認									
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認									
5.操作性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転									
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱									
	③ホワイトボタンの作動とキャニスターホルダーの着脱									
6.シール材の変形（キャニスターパッキン シールA ペイシェントホース ジョイント）	①キャニスターヘッドのパッキン取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
	②キャニスターヘッド用シールAの取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認									
	③ネオ・コントローラー用シールAの取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認									
7.清潔性	①キャニスターセットの清潔性の確認および洗浄、消毒状態の確認									
	②ネオ・コントローラー外観の清潔性の確認									

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整　T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

● 定期点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検方法	点検	備考
1.吸引性能	ネオ・コントローラー、吸引キャニスターの組付品の吸引確認	P.13の「吸引の開始」により確認する。		
2.気密	ネオ・コントローラーとキャニスターの組付部、および各ホース接続部の漏れ	ネオ・コントローラーを、ボトル部に組付た状態でボトル部のペイシェントホースの先端を塞ぎ吸引を開始し、各接合部およびホース接続部の漏れを確認する。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する。漏れがあれば吸引されます。		
3.構成品の外観	①キャニスターヘッドの亀裂、損傷、変色の確認	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する。		
	②キャニスターホルダーの亀裂、損傷、変色の確認			
	③ホワイトボタンの亀裂、損傷の確認			
	④ネオ・コントローラーの亀裂、損傷の確認			
	⑤ホース・チューブ類の折れくせ、劣化、亀裂の確認			
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認	各部品を着脱操作し、セットの状況を見る		
5.操作性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転	ハンドルを回転させ、作動がスムーズか確認する。		
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱	カラーボタンを押し、ネオ・コントローラーの着脱がスムーズに行えるか確認する。		
	③ホワイトボタンの作動とキャニスターホルダーの着脱	ホワイトボタンを押し、ボトルホルダーの着脱がスムーズに行えるか確認する。		
6.シール材の変形（キャニスターパッキン シールA ジョイント ペイシェントホース）	①キャニスターホルダーのパッキンの取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認	シール材の取り付け状態は正常か、変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		
	②キャニスターヘッドに取り付けられているシールA、ジョイント			
	③ネオ・コントローラー用シールAの取り付け状態、変形、劣化、亀裂等の損傷の確認			

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整
T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

点検日	
担当者	

MEMO

お願い

この取扱説明書に記載された、簡単な処置では解決できない問題が生じた時には、直ちに緊急連絡先へご連絡ください。
電話番号は下記の通りです。ご自身で修理を試みることは絶対におやめください。

緊急連絡先

KOIKE MEDICAL
発売元：株式会社 小池メディカル
本社■〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-24-8
TEL：03-5662-6605（代）
http://www.koike-medical.co.jp/

製造販売元
株式会社 群馬コイケ 〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町 222-1

■ お問い合わせは